

わる <sup>だいじん</sup> 悪い大臣たちは、<sup>おう</sup> 王さまに<sup>あ</sup> 会いにいきました。

「<sup>おう</sup> 王さま、あなたはだれよりもすばらしい<sup>かた</sup> 方です。  
『<sup>おう</sup> 王さまだけをおがみなさい』という<sup>きまり</sup> きまりをつくってはいかがでしょうか？ もしほかのものを  
おがんだら、きびしい<sup>ばつ</sup> ばつをあたえるのです」



<sup>おう</sup> 王さまは、「うんうん」とうなずきました。

<sup>だいじん</sup> 大臣たちは、にやっとわらっていいました。  
「ほかのものを<sup>ひと</sup> おがむ人は、  
だれでもライオン<sup>な</sup> のあなに投げこみましょう」



「なるほど、それはいい<sup>かんが</sup> 考えだ」



ダニエルは、  
あたら新しいきまりが  
できたことを  
し知っていました。

それでもダニエルは、  
かみ神さまにお祈りすることを  
やめません。

わる 悪い大臣たちが、  
ダニエルのいのお祈りを  
み見ていました。



だいじん大臣たちは、おう 王さまに知らせにいきました。

「ダニエルがいの祈っています。おう 王さまよりも  
かみ神さまのほうがえらいとおも思っているのです」



おう 王さまは、だいじん 大臣たちのわる 悪<sup>き</sup>だくみに気がつきました。